

授業計画(シラバス)

教科	一般	科目	経営概論		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01
教科担当		別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・1級整備士としての対人関係能力及びコミュニケーション能力の向上。								
・相手(個人及び集団)への影響力を高める(PIA)								
〔授業の到達目標〕								
・ソーシャルスタイルを知り、相手にあった対応力を身につける。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
PIAテキスト、ディーラーオペレーション研修テキスト								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	2	ディーラーオペレーションの理解						
	2	PIA事前アンケート:ソーシャルスタイル判定のためのアンケート						
	12	PIA研修(影響力創造研修)						
	1	単元試験						

授業計画(シラバス)

教科	一般	科目	営業実務		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01
教科担当		別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・販売会社における実務としての知識を身につけると共に、接客実務の能力向上を図り実践する。								
〔授業の到達目標〕								
・身につけた接客実務の知識を実践できるようになる。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
ディーラーオペレーション研修テキスト								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	5	【営業実務】販売の基本活動						
	1	【営業実務】Hondaの施策						
	3	【サービス部門マネジメント基礎】基本事項の確認・サービス部門の目的と役割						
	4	【サービス部門マネジメント基礎】サービス部門運営のポイント						
	4	【サービス部門マネジメント基礎】計数管理の基本						
	1	単元確認						

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	一般	科目	営業実務		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	17時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・販売会社における実務としての知識を身につけると共に、接客実務の能力向上を図り実践する。								
〔授業の到達目標〕								
・身につけた接客実務の知識を実践できるようになる。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
ディーラーオペレーション研修テキスト								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	4	接遇マナー研修						
	2	コミュニケーション講座						
	2	販売会社の周辺知識						
	2	マナー研修(マナー、常識の基本、挨拶、お辞儀、言葉遣いの練習)						
	2	サービス営業活動						
	4	サービスフロントとして身につけたい知識						
	1	単元試験						

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

教科	一般	科目	情報処理技術		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01
教科担当		別紙参照						
実務経験教員授業	非該当	総時限	11時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・社会人としてのパソコン操作能力の向上を図る。								
・サービスフロントシステムの概要を理解し、操作能力を高める								
〔授業の到達目標〕								
・パソコンを使用したサービスフロントシステムで整備受入書の作成ができるようになる。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
ディーラーオペレーション研修テキスト								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	3	インターンシップ先事前調査						
	3	インターンシップ事前研修まとめ						
	4	e-ディーラー研修						
	1	単元確認						

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	学科 自動車概論	科目	自動車概論Ⅱ		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	19時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元・期末試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・国家1級総合診断・環境保全・安全管理、法令教材テキスト記載の内容の知識を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
・国家1級総合診断・環境保全・安全管理、法令教材テキストの理解を深め国家1級合格レベルの知識を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
国家1級テキスト ・総合診断・環境保全・安全管理								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	1	環境 環境保全、資源の有効利用、産業廃棄物処理の影響と対応						
	1	環境 整備事業場などにおける環境保全						
	1	安全 安全管理、火災のあらまし、災害防止						
	1	環境・安全総合復習						
	1	法令 自動車の登録等 施行規則の別表						
	1	法令 道路運送車両の保安基準、点検基準、検査等						
	1	法令 保安基準＜自動車の寸法等、原動機等＞						
	1	法令 保安基準＜車枠及び車体等、騒音防止装置等＞						
	7	練習問題						
	1	法令 保安基準＜灯火装置等、警音器等＞						
	1	法令 自動車 NOx・PM法						
	1	法令総合復習						
	1	単元試験						

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	学科 自動車概論	科目	エンジン制御システム		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	19時限	授業方法	講義	評価方法	学科試験 単元・期末試験	取組加減
〔授業概要・目的〕								
・国家1級エンジンテキスト記載の内容の知識を習得する。								
〔授業の到達目標〕								
・国家1級エンジンテキストの理解を深め国家1級合格レベルの知識を習得する。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90～100点 4:75～89点 3:60～74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
〔使用教科書・教材等〕								
国家1級テキスト・総合診断・環境保全・安全管理								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	1	電気・電子回路の基本と測定技術知識の習得(プリントE-1使用)						
	1	オシロスコープの活用知識の習得(プリントE-2使用)						
	1	電気回路の構造、機能、点検知識の習得(プリントE-3使用)						
	2	センサ関連知識の習得(プリントE-4～E-5使用)						
	4	アクチュエータ関連知識の習得(プリントE-6～E-9使用)						
	2	CAN通信システム知識の習得(プリントE-10～E-11使用)						
	1	電子制御装置に関する故障診断の進め方(プリントE-12使用)						
	1	センサ系の故障診断(プリントE-13使用)						
	1	エンジン警告灯無点灯時の点検、整備方法(プリントE-14,15使用)						
	1	新技術 ハイブリッド車関連の知識の習得(プリント新-1使用)						
	1	新技術 圧縮天然ガス自動車関連の知識の習得(プリント新-2使用)						
	1	新技術 筒内噴射式ガソリン・エンジン関連の知識の習得(プリント新-3使用)						
	1	新技術 コモン・レール式高圧燃料噴射装置関連の知識の習得(プリント新-4使用)						
	1	単元試験						

授業計画(シラバス)

[illegible]

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	実習 サービスマネジ メント	科目	サービスマネージメントⅡ		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01	
							開講期	前期	
教科担当	別紙参照								
実務経験教員授業	非該当	総時限	29時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価	取組加減
〔授業概要・目的〕									
・サービスマンとしての知識・技術の習得を通じ、自己のスキルアップを目指す。									
・企業実習の事前研修として与えられた課題を履修する。									
〔授業の到達目標〕									
・販売会社が求めるサービスマンとしての知識、技術力を身につける。									
・SE2級資格受験レベルの知識、技術力を身につける。									
〔学習評価の基準〕									
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)									
〔使用教科書・教材等〕									
・法令教材 ・SE2級テキスト ハード編、ソフト編									
授 業 計 画 表								No. 1	
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	18	自動車販売に関する周辺知識及び点検整備・洗車サービスの概要と作業実践							
	2	実習確認							
2	3	SE2級実技試験対応 ・各種センサ、アクチュエータの点検・HDS、サーキットテスタを使用して電圧の確認							
	6	SE2級認定確認							

授業計画(シラバス)

[illegible]

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	実務実習 体験実習	科目	企業実習			対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01
								開講期	前期
教科担当	松下 忠史(一級自動車整備士)、有村 大樹(一級自動車整備士)、実習先各企業								
実務経験教員授業	該当	総時限	44時限	授業方法	実習・実技	評価方法	レポート評価 取組加減		
実務経験のある教員が、現場で必要な作業方法・知識について、実務経験を活かしてより実践的内容を指導し授業を行う。									
〔授業概要・目的〕									
・授業で学んだ理論と技術を実際の職場で実践、確認することで、自己の弱点を把握し、卒業までの具体的な課題と目標を明確にする。									
・社会人としての自覚、お客様に対する意識の向上を図る。 ・販売店業務及びサービス実務内容の全般を理解する。									
〔授業の到達目標〕									
・販売会社が求めるサービスマンとしての知識、技術力を身につける。									
〔学習評価の基準〕									
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)									
〔使用教科書・教材等〕									
授 業 計 画 表									No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	44	第1回インターンシップ							
		①サービススタッフの基本							
		心構え、言葉遣い、挨拶、朝礼参加、毎日スピーチ(前日の実習内容と当日の目標)							
		②点検整備及び修理の実施 ＊時間、効率を考えた作業の実践							
		クイックサービス(エンジンオイル、灯火類の交換など)							
		定期点検(まごころ点検、12ヶ月点検)							
		簡単な故障診断(症状の確認から診断、修理方法の習得)							
		③サービス業務の理解と実践							
		作業の流れ(受付、整備作業、引き渡し、お確かめフォロー)の理解							
		フロントアドバイザーの基本作業の習得(受付、作業指示、作業管理)							
		第2回インターンシップ:10月予定							

授業計画(シラバス)

[illegible]

授業計画(シラバス)

教科	実務実習 評価実習	科目	専門実習		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	60時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕								
・エンジン系センサの信号電圧、アクチュエータの駆動信号電圧の理解度を向上させる								
・DMM・オシロスコープ・半導体・外部診断機等専門知識の幅を広げる								
〔授業の到達目標〕								
・1級整備士としての実践的な整備技術を身につける。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
・1級テキスト エンジン電子制御 ・SE2級テキスト ハード編								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	14	GBフリードを使用してDCTトランスミッション及びEPSの脱着を行う						
	2	総合復習						
	4	実習確認						
2	11	GBフリードを使用して各種センサの信号電圧を確認する						
	11	ZEインサイトを使用して各種センサの信号電圧を確認する						
	2	総合復習						
	2	実習確認						

授業計画(シラバス)

[illegible]

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	実務実習 評価実習	科目	応用実習		対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01
							開講期	前期
教科担当	別紙参照							
実務経験教員授業	非該当	総時限	52時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価 取組加減
〔授業概要・目的〕								
・エンジン・シャシ系各部門の電子制御装置の総合診断技術を習得								
・新技術・振動騒音等専門知識の幅を広げる								
〔授業の到達目標〕								
・1級整備士としての実践的な整備技術を身につける。								
〔学習評価の基準〕								
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。								
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの								
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点								
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。								
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)								
〔使用教科書・教材等〕								
・1級テキスト エンジン電子制御装置 ・シャシ電子制御装置 ・SE2級テキスト ハード編								
授 業 計 画 表								No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)						
1	2	導入説明及び振動騒音プリント実施(1級公論社問題集使用)						
	8	CVアコードを使用して振動騒音について検証する						
	8	GBフリードを使用して振動騒音について検証する						
	6	外部診断機の取り扱いについて理解する						
	2	単元確認						
2	4	新技術のCVTについて学ぶ						
	4	GBフリードでVSAについて学ぶ						
	4	GBフリードでSRSエアバック、プリテンショナシートベルトについて学ぶ						
	4	新技術のCNGコモンレール筒内噴射式エンジンについて学ぶ						
	4	新技術のHV(ハイブリット)について学ぶ						
	3	総合復習						
	3	実習確認						

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	実務実習 評価実習	科目	総合実習			対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01
								開講期	後期
教科担当	松下 忠史(一級自動車整備士)、有村 大樹(一級自動車整備士)、中林 昭雄(一級自動車整備士)								
実務経験教員授業	該当	総時限	61時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価	取組加減
・実務経験のある教員が、現場で必要な作業方法・知識について、実務経験を活かしてより実践的内容を指導し授業を行う。									
〔授業概要・目的〕									
・基礎的な各種整備作業の技術的なスキルアップ及び整備関連知識の幅を広げる。									
・国家1級口述試験対応									
〔授業の到達目標〕									
・1級整備士としての各種整備作業能力を身につける。									
・国家1級口述試験合格レベルを身につける									
〔学習評価の基準〕									
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)									
〔使用教科書・教材等〕									
・1級エンジン電子制御装置 ・1級シャシ電子制御装置 ・1級総合診断 ・自動車定期点検の手引き ・法令教材									
授 業 計 画 表									No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	28	口述試験対応(問診)							
	4	実習確認							
2	12	実践整備技術① 各種点検作業(GBフリート、ZEインサイト、CVアコート)							
	12	実践整備作業② ブレーキ系整備作業(GBフリート、ZEインサイト、CVアコート)							
	2	タイヤ交換作業実践							
	1	総合復習							
	2	実習確認							

授 業 計 画(シ ラ バ ス)

教科	実務実習 評価実習	科目	総合実習			対象級	専門課程 一級自動車研究開発 学科4年(一級コース)	作成月日	25/04/01
								開講期	前期
教科担当	松下 忠史(一級自動車整備士)、有村 大樹(一級自動車整備士)、中林 昭雄(一級自動車整備士)								
実務経験教員授業	該当	総時限	52時限	授業方法	実習・実技	評価方法	実習試験 単元試験	レポート評価	取組加減
・実務経験のある教員が、現場で必要な作業方法・知識について、実務経験を活かしてより実践的内容を指導し授業を行う。									
〔授業概要・目的〕									
・基礎的な各種整備作業の技術的なスキルアップ及び整備関連知識の幅を広げる。									
・国家1級口述試験対応 ・SE2級実技試験対応									
〔授業の到達目標〕									
・1級整備士としての各種整備作業能力を身につける。									
・国家1級口述試験合格レベルを身につける									
・SE2級実技試験合格レベルを身につける									
〔学習評価の基準〕									
各試験点数の基準、レポート評価及授業の取り組みを総合して、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。									
5:特に成績優秀なもの 4:成績良のもの 3:成績普通のもの 2:成績やや劣るもの 1:成績特に劣り、不合格のもの									
各試験点数の評価は 5:90 ～100点 4:75 ～ 89点 3:60 ～ 74点									
60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。									
レポートの評価は 5:非常に優れている 4:優れている 3:普 通 2:やや劣る 1:劣る(再提出の必要がある)									
〔使用教科書・教材等〕									
・1級エンジン電子制御装置 ・1級シャシ電子制御装置 ・1級総合診断 ・自動車定期点検の手引き ・SE2級ハード・ソフト編									
授 業 計 画 表									No. 1
STEP	標準時限	授業内容(項目)							
1	12	各種点検作業(GBフリード、ZEインサイト、CVアコード)							
	12	ブレーキ系整備作業(GBフリード、ZEインサイト、CVアコード)							
	2	実習確認							
2	11	口述試験対応(整備内容説明)							
	2	実習確認							
	12	SE2級実技試験対応 (GBフリード・ZEインサイト・CVアコード)							
	1	SE2級 (ソフト編) 復習							